

日本災害時公衆衛生歯科研究会

2024年度第3回研修会

2025年3月5日(水) 19:00～20:50

ウインクあいち(愛知県産業労働センター) 1007号室(小会議室A)

愛知県名古屋駅前(JR名古屋駅桜通口から徒歩5分、JR新幹線口から徒歩9分)

能登半島地震の経験からの考察

～歯科支援と地域栄養との連携ポイントを探る～

令和6年能登半島地震においては、「JDAT(災害歯科支援チーム)」が正式に設立されてから、初めての災害派遣となりました。また、令和6年度の防災基本計画にはJDA-DATやJRATが書き込まれ、同様に派遣されました。これらは皆、地域医療計画において、災害に関わる多くの「保健医療活動チーム」の中のひとつとして位置づけられています。

JDATは、自治体や地域の歯科との連携とともに、多職種の保健医療チームと連携して活動することが重要ですが、令和6年能登半島地震では、なかなか難しい面もありました。

過去の災害にも、様々な立場から派遣されたことのある歯科医師は、どのように感じたのでしょうか。また、地域で受援しつつ支援に関わられ続けている管理栄養士からみては、どのような困難があったのでしょうか。これからの課題と対策を含めて、お話を伺いたい、考えてみたいと思います。

お時間とればご一緒ください。

災害時の歯科と他職種との連携をふりかえる

～東日本大震災での救護班、熊本地震でのJMAT、
能登半島地震でのJDAT、の経験から～

門井謙典(愛知県歯科医師会, 兵庫医科大学歯科口腔外科)

地域栄養の実践と令和6年能登半島地震被災の経験から

～地域栄養拠点と歯科の連携からできた活動・災害時とその後～

橋本良子(認定栄養ケアステーション・チームKYE栄養相談室, 石川県栄養士会能登支部)

※ 本研修会は、関係者があくまでも個人として、これからの活動を効率的にできる可能性を検討するものであり、組織を代表するものではありません。

申込み：jsdphd-admin@umin.org までメール

締切：2月25日(火)

人数：先着最大50名(部屋キャパ限界!)

参加費：1000円(学生・無職は免除) **現金のみ**

予定：18:45 開場

19:00 講演1 門井

19:30 講演2 橋本

20:30 質疑

20:50 終了

21:00 撤収完了

(その後、有志でお食事)